

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第70期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 ハビックス株式会社

【英訳名】 HAVIX CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 吉村和彦

【本店の所在の場所】 岐阜県岐阜市福光東三丁目5番7号

【電話番号】 058 - 296 - 3911(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 伊神清隆

【最寄りの連絡場所】 岐阜県岐阜市福光東三丁目5番7号

【電話番号】 058 - 296 - 3911(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 伊神清隆

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第1四半期 連結累計期間	第70期 第1四半期 連結累計期間	第69期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	3,281,384	3,246,697	12,823,170
経常利益 (千円)	249,400	218,525	694,567
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	173,170	152,164	474,756
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	179,373	141,324	487,375
純資産額 (千円)	7,613,949	7,938,399	7,921,949
総資産額 (千円)	14,081,994	14,886,526	15,179,837
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	22.19	19.50	60.83
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	54.1	53.3	52.2

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、外食産業市場は一時のインバウンド需要が落ち着いたものの堅調に推移しました。紙おむつ市場は、高齢化の進展に伴い大人用紙おむつの生産が引き続き増加しましたが、ベビー用紙おむつは中国での電子商取引法の施行等の影響を受け輸出が減少したことにより国内生産も軟調に推移しました。また、主要原材料であるパルプの価格動向については、衛生用紙向けパルプの価格が中国での景気減速の影響等により下落傾向で推移した一方、パルプ不織布向けパルプの価格は国際的な需給バランスにより高い水準で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは既存製品の販売拡大とコスト削減に取り組みました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,246百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益は210百万円(同14.6%減)、経常利益は218百万円(同12.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は152百万円(同12.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

a. 不織布関連事業

パルプ不織布は、前期に減少したドリップ吸収シート向け製品やクッキングペーパーの販売が回復基調で推移したことにより売上高は増加しましたが、パルプの価格が高い水準で推移したことにより利益は減少しました。化合織不織布は、中国向けの輸出減少の影響を受け一部販売先へのベビー用紙おむつ向け製品の販売が減少したこと等により売上高が減少し、また原材料価格が高い水準で推移したこと等により利益も減少しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,907百万円(前年同期比2.2%増)、セグメント利益は299百万円(同12.9%減)となりました。

b. 紙関連事業

衛生用紙は、中国向けの輸出減少の影響を受け一部販売先へのベビー用紙おむつ向け製品の販売が減少したこと等により売上高は減少しました。一方で、前期から推し進めてきた価格修正が浸透してきたことやパルプの価格が下落傾向で推移したこと、コスト削減に取り組んだことにより利益は増加しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,338百万円(前年同期比5.4%減)、セグメント利益は136百万円(同26.8%増)となりました。

総資産は、前連結会計年度末と比べ293百万円減少して14,886百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が150百万円増加したこと、現金及び預金が160百万円、原材料及び貯蔵品が159百万円、機械装置及び運搬具が91百万円、商品及び製品が51百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ309百万円減少して6,948百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払費用が140百万円増加したこと、流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形が190百万円、長期借入金が167百万円、支払手形及び買掛金が80百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ16百万円増加して7,938百万円となりました。これは主に、利益剰余金が27百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は53.3%となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は16百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,175,280	8,175,280	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であり ます。
計	8,175,280	8,175,280		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		8,175,280		593,660		603,260

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 370,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,800,500	78,005	
単元未満株式	普通株式 4,180		
発行済株式総数	8,175,280		
総株主の議決権		78,005	

- (注) 1 「単元未満株式」の欄の普通株式には、自己名義の株式が1株含まれております。
 2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ハビックス株式会社	岐阜県岐阜市福光東三丁目5 番7号	370,600		370,600	4.53
計		370,600		370,600	4.53

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,452,236	3,291,954
受取手形及び売掛金	2,686,558	2,837,003
電子記録債権	1,757,246	1,765,184
商品及び製品	410,347	358,445
仕掛品	10,350	17,653
原材料及び貯蔵品	743,560	584,247
その他	42,591	41,467
貸倒引当金	3,450	3,450
流動資産合計	9,099,440	8,892,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,049,324	4,052,663
減価償却累計額	2,213,933	2,240,805
建物及び構築物(純額)	1,835,390	1,811,857
機械装置及び運搬具	7,613,012	7,624,111
減価償却累計額	6,311,477	6,413,991
機械装置及び運搬具(純額)	1,301,535	1,210,119
土地	1,175,984	1,175,984
建設仮勘定	1,232,077	1,270,658
その他	384,772	391,415
減価償却累計額	323,977	333,394
その他(純額)	60,795	58,020
有形固定資産合計	5,605,783	5,526,640
無形固定資産	167,970	154,921
投資その他の資産		
その他	348,083	353,900
貸倒引当金	41,440	41,440
投資その他の資産合計	306,642	312,460
固定資産合計	6,080,397	5,994,022
資産合計	15,179,837	14,886,526

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,557,208	2,476,529
1年内返済予定の長期借入金	626,176	626,176
未払法人税等	72,382	82,205
賞与引当金	133,667	67,005
役員賞与引当金	24,000	7,500
その他	1,063,266	1,067,268
流動負債合計	4,476,701	4,326,685
固定負債		
長期借入金	2,596,461	2,428,562
退職給付に係る負債	151,262	158,566
その他	33,463	34,314
固定負債合計	2,781,186	2,621,442
負債合計	7,257,888	6,948,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,660	593,660
資本剰余金	603,260	603,260
利益剰余金	6,714,580	6,741,869
自己株式	69,719	69,719
株主資本合計	7,841,780	7,869,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,200	57,656
為替換算調整勘定	13,967	11,672
その他の包括利益累計額合計	80,168	69,328
純資産合計	7,921,949	7,938,399
負債純資産合計	15,179,837	14,886,526

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,281,384	3,246,697
売上原価	2,622,625	2,602,137
売上総利益	658,759	644,560
販売費及び一般管理費	412,096	433,899
営業利益	246,662	210,660
営業外収益		
受取利息	323	36
受取配当金	2,217	2,177
為替差益	1,982	2,266
試作品売却収入	318	4,749
故紙売却収入	1,452	1,689
補助金収入		3,241
その他	908	697
営業外収益合計	7,203	14,856
営業外費用		
支払利息	4,084	6,757
その他	381	235
営業外費用合計	4,466	6,992
経常利益	249,400	218,525
税金等調整前四半期純利益	249,400	218,525
法人税、住民税及び事業税	105,035	91,177
法人税等調整額	28,805	24,816
法人税等合計	76,230	66,360
四半期純利益	173,170	152,164
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,170	152,164

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	173,170	152,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,816	8,544
為替換算調整勘定	1,386	2,295
その他の包括利益合計	6,203	10,840
四半期包括利益	179,373	141,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,373	141,324
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日または現金決済日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	46,925千円	39,368千円
電子記録債権	12,444千円	34,909千円
支払手形	384,484千円	292,881千円
流動負債 その他(設備関係支払手形)	2,473千円	378,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	172,779千円	151,097千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	117,070	15.00	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	124,874	16.00	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	不織布関連事業 (千円)	紙関連事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	1,866,140	1,415,244	3,281,384		3,281,384
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,866,140	1,415,244	3,281,384		3,281,384
セグメント利益	343,646	107,820	451,466	204,803	246,662

(注) 1 セグメント利益の調整額 204,803千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	不織布関連事業 (千円)	紙関連事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	1,907,992	1,338,705	3,246,697		3,246,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,907,992	1,338,705	3,246,697		3,246,697
セグメント利益	299,196	136,668	435,865	225,204	210,660

(注) 1 セグメント利益の調整額 225,204千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	22.19円	19.50円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	173,170	152,164
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	173,170	152,164
普通株式の期中平均株式数(株)	7,804,681	7,804,679

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

ハビックス株式会社
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 加藤克彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 増見彰則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているハビックス株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ハビックス株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。